

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 株式会社 ディーエムエス

上場取引所 東

コード番号 9782 URL <http://www.dmsip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部部長代理 (氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,215	7.1	831	18.1	804	20.2	503	43.2
25年3月期第3四半期	12,335	△5.2	703	45.7	669	52.0	351	74.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 625百万円 (77.5%) 25年3月期第3四半期 352百万円 (72.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	86.46	—
25年3月期第3四半期	60.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	12,811	7,741	60.4	1,329.33
25年3月期	13,234	7,202	54.4	1,236.84

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,741百万円 25年3月期 7,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,050	3.9	1,270	14.7	1,220	15.4	730	22.4	125.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	7,262,020 株	25年3月期	7,262,020 株
26年3月期3Q	1,438,770 株	25年3月期	1,438,616 株
26年3月期3Q	5,823,327 株	25年3月期3Q	5,823,451 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の一部緩慢な動きや来年度からの消費税増税を控えていることで、不透明な状況が続いたものの、政府の経済対策や日本銀行の金融政策の効果などを背景とした円安・株高の影響により、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましても、こうした状況を反映し、夏場以降、顧客企業における販促企画の需要は少しずつではありますが回復の兆しが見られるようになりました。

このようななか当社は、新規顧客開拓を積極的に展開するとともに、宛名データ処理・出力やフィルムラッピングをはじめとしたメーリングサービス業務の内製化を推進してまいりました。また、「EC・通販出荷代行サービスの開発」や「マーケティングサービスの強化」、「ウェブ・モバイルマーケティングサービスの開発」といった新サービス開発に取り組んでおり、「マーケティングサービスの強化」では「顧客データ分析サービス」を、「ウェブ・モバイルマーケティングサービスの開発」では、「かざしてWeb」という自社アプリを開発し、提供を開始するなど、事業領域の拡大にも努めてまいりました。

この結果、当四半期連結累計期間の連結売上高は、ダイレクトメール部門を中心として順調に推移したことにより、132億15百万円（前年同期比7.1%増）となりました。連結営業利益は、増収効果に加えて内製化推進によって利益率を改善したことにより、8億31百万円（同18.1%増）となりました。連結経常利益は、営業外収益が19百万円（同0.4%増）、営業外費用が46百万円（同14.2%減）となった結果、8億4百万円（20.2%増）となりました。連結四半期純利益は、税金費用を2億92百万円としたことにより5億3百万円（同43.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、売上高は既存先からの受注増や新規先の獲得によって、119億21百万円（同7.6%増）、セグメント利益は増収効果に加えてEC・通販出荷代行業務、封入業務などの稼働率向上による利益率の改善の結果、10億27百万円（同12.1%増）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務の新規受注に努めた結果、売上高は8億32百万円（同2.2%減）となりました。セグメント利益はユーザー獲得プロモーションのキャンペーン業務などの貢献によって1億50百万円（同5.8%増）となりました。

③イベント部門

販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、売上高は3億96百万円（同15.7%増）、セグメント利益は7百万円（35.2%減）となりました。

④賃貸部門

千代田小川町クロスタビル（東京都千代田区）等の売上高は前年同期とほぼ同額の44百万円、セグメント利益は物件の減価償却費遞減効果により9百万円（同92.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に仕掛品が2億74百万円増加しましたが、現金及び預金が4億10百万円、売上債権が3億21百万円減少したことにより、全体として49億47百万円（前連結会計年度末比4億41百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が1億69百万円減少しましたが、保有株式の時価上昇などで投資有価証券が2億2百万円増加したことにより、全体として78億53百万円（同20百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が9百万円（同2百万円減）となりました。

その結果、資産合計では、128億11百万円（同4億23百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が5億35百万円、未払法人税等が1億93百万円、それぞれ減少したことにより、全体として25億98百万円（同7億7百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が67百万円、長期借入金が2億21百

万円減少したことにより、全体として24億71百万円（同2億53百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、50億70百万円（同9億61百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では連結四半期純利益5億3百万円の計上と配当87百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて4億16百万円の増加となりました。そのほか株式市場等の上昇を受けてその他有価証券評価差額金が1億22百万円（税効果分は除く）増加したことにより、全体として77億41百万円（同5億38百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月31日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,676,899	1,266,076
受取手形及び売掛金	3,134,326	2,812,979
仕掛品	167,078	442,050
立替郵送料	131,181	107,174
繰延税金資産	121,507	85,219
その他	160,734	265,965
貸倒引当金	△2,729	△31,980
流動資産合計	5,388,998	4,947,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,787,255	2,700,285
機械装置及び運搬具（純額）	325,252	275,428
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産（純額）	135,763	130,600
その他（純額）	51,853	53,866
有形固定資産合計	6,130,225	5,990,282
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	506,174	708,388
投資不動産（純額）	968,765	945,960
繰延税金資産	9,614	—
その他	232,981	141,694
貸倒引当金	△88,961	—
投資その他の資産合計	1,628,575	1,796,043
固定資産合計	7,832,771	7,853,623
繰延資産		
社債発行費	12,278	9,933
繰延資産合計	12,278	9,933
資産合計	13,234,048	12,811,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,786,630	1,251,482
1年内償還予定の社債	90,150	90,150
短期借入金	507,656	468,159
リース債務	39,345	42,275
未払法人税等	280,364	86,963
賞与引当金	207,297	106,291
その他	394,759	553,314
流動負債合計	3,306,204	2,598,636
固定負債		
社債	522,550	454,900
長期借入金	1,565,045	1,343,800
リース債務	147,513	133,532
繰延税金負債	9,970	65,839
退職給付引当金	353,736	355,954
役員退職慰労引当金	56,540	49,715
再評価に係る繰延税金負債	21,332	21,332
その他	48,523	46,289
固定負債合計	2,725,212	2,471,364
負債合計	6,031,417	5,070,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	5,958,990	6,375,161
自己株式	△582,600	△582,723
株主資本合計	7,937,206	8,353,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,817	205,180
土地再評価差額金	△817,392	△817,392
その他の包括利益累計額合計	△734,575	△612,212
純資産合計	7,202,630	7,741,042
負債純資産合計	13,234,048	12,811,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,335,869	13,215,241
売上原価	10,743,222	11,517,855
売上総利益	1,592,647	1,697,386
販売費及び一般管理費	888,679	865,884
営業利益	703,967	831,501
営業外収益		
受取利息	252	195
受取配当金	9,137	9,589
雑収入	10,113	9,787
営業外収益合計	19,503	19,573
営業外費用		
支払利息	51,559	43,895
その他	2,407	2,432
営業外費用合計	53,966	46,328
経常利益	669,504	804,747
特別利益		
固定資産売却益	—	328
投資有価証券売却益	—	13,977
賃貸借契約解約益	4,821	—
特別利益合計	4,821	14,305
特別損失		
固定資産除却損	1,427	2,073
投資有価証券評価損	—	21,416
社葬費用	28,038	—
貸倒引当金繰入額	85,961	—
その他	9,742	—
特別損失合計	125,169	23,489
税金等調整前四半期純利益	549,156	795,562
法人税、住民税及び事業税	171,211	253,186
法人税等調整額	26,236	38,854
法人税等合計	197,447	292,040
四半期純利益	351,708	503,522

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
四半期純利益	351,708	503,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	966	122,363
その他の包括利益合計	966	122,363
四半期包括利益	352,675	625,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,675	625,885
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,080,282	851,613	342,384	43,703	12,317,983	17,886	12,335,869
セグメント間の内部 売上高又は振替高	722	1,027	—	90	1,839	102	1,941
計	11,081,004	852,640	342,384	43,793	12,319,822	17,988	12,337,811
セグメント利益	917,076	142,151	12,285	4,709	1,076,223	7,008	1,083,231

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,076,223
「その他」の区分の利益	7,008
セグメント間取引消去	△1,941
全社費用(注)	△377,316
棚卸資産の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	703,967

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,921,196	832,861	396,140	44,655	13,194,853	20,387	13,215,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	449	101	—	90	640	305	946
計	11,921,645	832,963	396,140	44,745	13,195,494	20,693	13,216,188
セグメント利益	1,027,980	150,448	7,956	9,078	1,195,464	11,054	1,206,519

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,195,464
「その他」の区分の利益	11,054
セグメント間取引消去	△946
全社費用（注）	△374,070
四半期連結損益計算書の営業利益	831,501

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。